

氏名 _____

令和7年11月17日実施 中部運輸局

法令試験問題

解答用紙

問 1

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	
26		27		28		29		30	
31		32		33		34		35	

問 2

①		②		③		④		⑤	
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

令和7年11月17日 中部運輸局法令試験問題

問 1. 次の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答用紙に記入してください。

1. 旅客自動車運送事業者は、事業報告書及び輸送実績報告書を毎年5月31日までに行政庁に提出しなければなりません。
2. 一般旅客自動車運送事業者は、その事業を休止し、又は廃止したときは、その日から2週間以内にその旨を届け出なければなりません。
3. 個人タクシー事業の許可を新たに受けようとする者は、営業所所在地を管轄する地方運輸局長に対して、道路運送法に規定する一般乗用旅客自動車運送事業の許可申請を行わなくてはなりません。
4. 一般旅客自動車運送事業者が運輸を開始した場合は届け出る必要があります。
5. 旅客自動車運送事業者は、旅客又は公衆に対して、公平かつ懇切な取扱いをしなければなりません。
6. 道路運送法において、一般旅客自動車運送事業者は、特定の旅客に対し、不当な差別的取扱いをしてはならないことが規定されていますが、特約があれば個人タクシー事業者はその適用が除外されます。
7. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に応急修理のために必要な器具及び部品を備えなければ、当該事業用自動車を旅客の運送の用に供してはなりません。が、運送の途中において当該事業用自動車に故障が発生した場合に、これらの器具及び部品を容易に供給することができるときであっても、当該事業用自動車を旅客の運送の用に供することはできません。
8. 期限更新日において年齢が満65歳以上の個人タクシー事業者は、期限更新申請書に旅客自動車運送事業運輸規則に定めるところによる高齢者に対する適性診断（高齢者診断）を受診したことを証する書面を添付すれば、公的医療機関等の医療提供施設において健康診断を受診したことを証する書面を添付する必要はありません。
9. 事業者は、行き先を告げることもできない泥酔者であって、他の旅客の迷惑となるおそれのある者に対しても運送の引受けを拒絶することはできません。

10. 時間制運賃は、営業所（無線基地局を含みます。）において時間制運賃によるあらかじめの特約がある場合に適用します。
11. 個人タクシー事業者は、使用している事業用自動車に故障等により使用できなくなった場合、一時的に自家用自動車を使用して、事業を行うことができます。
12. 旅客自動車運送事業運輸規則には、旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を常に清潔に保持しなければならないことが規定されています。
13. 個人タクシー事業者が、営業区域内の他の場所に転居することになりました。この場合、運送約款の変更の手続きは必要ありません。
14. 事業者が、運送の申込みを受けた順序によらずに旅客を運送することができるのは、急病人を運送する場合その他正当な事由がある場合に限りされています。
15. 個人タクシー事業者は、氏名及び住所を明らかにした者から運輸に関する苦情の申出を受け付けた場合、一定の事項を記録し、かつ、その記録を2年間保存しなければなりません。
16. 一般乗用旅客自動車運送事業の営業区域は、輸送の安全、旅客の利便等を勘案して、地方運輸局長が定める区域を単位としています。
17. 一般旅客自動車運送事業者は、営業所の名称を変更するときは、あらかじめその旨を国土交通大臣に届け出なければなりません。
18. 一般乗用旅客自動車運送事業の標準運送約款には、旅客の故意若しくは過失により又は旅客が法令若しくはこの運送約款の規定を守らないことにより一般乗用旅客自動車運送事業者が損害を受けた場合であっても、その旅客に対し、その損害の賠償を求めることができない旨が規定されています。
19. 自動車点検基準に規定する日常点検基準においては、タクシー車両の原動機については、走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に点検を行えばよいこととなっています。
20. 道路運送法の規定では、許可又は認可に付された条件又は期限は変更することができます。
21. 道路運送法の目的には、旅客自動車運送事業者の利益を保護することが含まれています。

22. タクシー運転者が、乗務の終了等のため車庫又は営業所に回送しようとする場合には、回送板を掲出する必要はありません。
23. 個人タクシー事業者は、業務中に疾病によりタクシーの運転を継続することができなくなる自動車事故を引き起こした場合、死傷者が生じていなければ自動車事故報告書を提出する必要はありません。
24. 自動車の使用者は、当該自動車が道路運送車両法の規定に基づく保安基準に適合するように必要な整備をしなければなりません。
25. 道路運送法等の法令違反により期限更新で1年後との許可期限を付された個人タクシー事業者は、期限更新日から6ヶ月以内に地方運輸局等が主催する研修を受けることが義務付けされます。
26. 個人タクシー事業者の車庫について、その位置に変更がないものの、収容能力が変わった場合、事業計画変更の手続が必要です。
27. 自動車は、国土交通大臣の行う検査を受け、有効な自動車検査証の交付を受けているものでなければ、運行の用に供することはできません。
28. 個人タクシー事業者の場合、法人タクシー乗務員とは異なり、業務記録を記載する必要はありません。
29. 道路運送法では、一個の契約により国土交通省令で定める乗車定員以上の自動車を貸し切って旅客を運送する事業を一般乗用旅客自動車運送事業と規定しています。
30. 道路運送法で「自動車運送事業」とは、旅客自動車運送事業及び貨物自動車運送事業をいいます。
31. タクシー業務適正化特別措置法施行規則には、事業者が事業者乗務証をよごし、損じ、又は失ったときに、その再交付を受けることができる旨が規定されています。
32. 身体障害者補助犬及びこれと同等の能力を有すると認められる犬並びに愛玩用の小動物をタクシー車内に持ち込む旅客に対しては、運送の引受けを拒絶することはできません。
33. タクシー事業者は、旅客を運送中に事故により運行を中断したときは、当該旅客を出発地まで送還するなどの適切な処置により旅客を保護しなければなりません。

34. 個人タクシー事業者は、発地及び着地のいずれもが許可等を受けた営業区域外となる旅客の運送をしてはなりません。
35. 個人タクシー事業者は、業務した事業用自動車の走行距離計に表示されている業務の開始時における走行距離の積算キロ数を、業務記録に記録しなければなりません。

問2. 次の法令条文の（ ）にあてはまる言葉を下のア～ソの中から選び、カナを解答用紙に記入して下さい。

道路運送法第40条（許可の取消等）

国土交通大臣は、一般旅客自動車運送事業者が次の各号のいずれかに該当するときは、（ ① ）以内において期間を定めて自動車その他（ ② ）の当該事業のための使用の（ ③ ）若しくは事業の（ ③ ）を命じ、又は許可を取り消すことができる。

- 一 この法律若しくはこの法律に基づく命令若しくはこれらに基づく処分又は許可若しくは認可に付した条件に違反したとき。
- 二 正当な理由がないのに許可又は認可を受けた事項を実施しないとき。
- 三 第七条第一号、第三号又は第四号に該当することとなったとき。

道路運送法施行規則第12条（運送約款の記載事項）

法第十一条第一項による一般旅客自動車運送事業の運送約款に定める事項は、次のとおりとする。

- 一 事業の種別
- 二 運賃及び料金の收受又は（ ④ ）に関する事項
- 三 運送の引受けに関する事項
- 四 運送（ ⑤ ）の始期及び終期
- 五 略
- 六 略
- 七 略

ア 責任	イ 割引・割増	ウ 営業所	エ 義務
オ 輸送施設	カ 事業施設	キ 三月	ク 契約
ケ 一年	コ 割戻し	サ 停止	シ 払戻し
ス 休止	セ 六月	ソ 制限	

令和7年11月17日実施 中部運輸局

法令試験問題模範解答

※ この模範解答は運輸局が公式に発表したものではなく、日個連東京都営業協同組合組織維持対策室にて判断・作成したものです。運輸局の見解とは異なる場合もあり得ますので、予めご了承下さい。

問 1

1	× 報告2	2	× 運38	3	○ 運5	4	○ 運施66	5	○ 輸2
6	× 運30	7	× 輸43	8	× 期限更新	9	× 輸13	10	○ 運賃制度
11	× 運78	12	○ 輸44	13	○ 運11	14	○ 運14	15	× 輸3
16	○ 運施5	17	× 運15	18	× 約款10	19	○ 点検別表	20	○ 運86
21	× 運1	22	× 輸50	23	× 事故2+3	24	○ 車47	25	○ 期限更新
26	○ 運15ほか	27	○ 車58	28	× 輸25	29	× 運3	30	○ 運2
31	○ 特施33	32	○ 輸13+52	33	○ 輸18	34	○ 運20	35	○ 輸25

問 2

①	セ	②	オ	③	サ	④	シ	⑤	ア
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 新型設問はありません。読点や送り仮名の違いは既出扱いです。
- 語群の本文に誤字脱字がありますが原文通りです。